

治療薬

イラストレイテッド

一目でわかる薬理作用と疾患別処方例 改訂版

改訂の序	山田信博	3
初版の序	山田信博	5
早わかり薬理作用一覧		12

第1章 総論：薬物治療の基礎 幸田幸直 20

- 1) 薬物が働く基本的なメカニズム
- 2) 薬物が及ぼす作用と副作用, 耐性と依存
- 3) ところで薬 (くすり) とは?
- 4) 薬剤の適用時に考えること
- 5) 薬物血中濃度測定に基づく投与量設計
- 6) 小児の薬用量
- 7) 高齢者の薬用量
- 8) 妊娠時に禁忌の薬物
- 9) 临床上重要な併用禁忌

第2章 各科別 薬の作用機序と処方例

1. 循環器系 編集：筒井裕之

1 ● 降圧薬	古本智夫	34
1) 合併症のない本態性高血圧 2) 心疾患を合併する高血圧の治療 3) 脳血管障害を合併する高血圧の加療 4) 慢性腎臓病を合併する高血圧の治療 5) 糖尿病を合併する高血圧の治療 6) メタボリックシンドロームを合併する高血圧の治療 7) 高齢者の高血圧の治療		
2 ● 抗狭心症薬	川嶋 望	40
1) 労作性狭心症 2) 冠攣縮性狭心症 3) 不安定狭心症		
3 ● 抗不整脈薬	横式尚司	45
1) 発作性上室頻拍 (PSVT) 2) 心房細動 3) 心房粗動 4) 上室期外収縮・心房頻拍 5) 心室頻拍 6) 心室期外収縮		
4 ● 心不全治療薬・強心薬	筒井裕之	53
1) 急性心不全 2) 収縮不全による慢性心不全 3) 拡張不全による心不全		
5 ● 利尿薬	絹川 真太郎	59
1) 急性心不全・肺水腫 2) 慢性心不全 3) 高血圧 4) 浮腫		
6 ● 末梢血管拡張薬	石森直樹	64
1) 末梢動脈疾患（閉塞性動脈硬化症） 2) 急性動脈閉塞症 3) 肺動脈性肺高血圧症 4) Raynaud病・Raynaud現象		

7 ● 抗血栓薬 (抗血小板薬, 抗凝固薬)	榊原 守	69
1) 虚血性心疾患	2) 心房細動	3) 慢性末梢動脈疾患

2. 消化器系 編集：菅野 健太郎

1 ● 健胃・消化薬	石野 祐三子	81
1) 機能性ディスペプシア 2) 過敏性腸症候群 3) 術後消化管運動障害 4) 慢性膵炎		
2 ● 消化性潰瘍治療薬	石野 祐三子	86
1) 胃潰瘍 2) 十二指腸潰瘍 3) NSAIDs潰瘍 4) 胃食道逆流症 5) Zollinger-Ellison症候群 6) 慢性胃炎増悪期		
3 ● 鎮痙薬と鎮痛薬	佐藤幸浩	93
1) 消化管の蠕動亢進が原因で起こる腹痛（急性胃腸炎，機械的腸閉塞など） 2) 胆嚢痙痛 3) 胃酸の刺激による痛み 4) 過敏性腸症候群（IBS） 5) 検査前投薬 6) 癌性疼痛		
4 ● 下剤	砂田 圭二郎	102
1) 弛緩性便秘 2) 直腸性便秘 3) 痙攣性便秘		
5 ● 止痢・整腸薬	砂田 圭二郎	108
1) 感染性下痢症 2) 非感染性下痢症		
6 ● 炎症性腸疾患治療薬	砂田 圭二郎	115
1) 潰瘍性大腸炎 2) Crohn病		
7 ● 肝・膵疾患治療薬	林 芳和	123
1) 急性ウイルス性肝炎 2) 劇症肝炎 3) 薬剤性肝障害 4) B型慢性肝炎 5) C型慢性肝炎 6) 自己免疫性肝炎 7) 肝硬変 8) 急性膵炎 9) 慢性膵炎		
8 ● 胆嚢・胆道疾患治療薬	佐藤博之	137
1) 胆石症（胆石溶解療法） 2) 胆道ジスキネジー 3) 胆嚢摘除後症候群 4) 肝内胆汁うっ滞		

3. 呼吸器系 編集：檜澤伸之

1 ● 気管支拡張薬・吸入ステロイド薬	森島祐子, 檜澤伸之	142
1) 喘息の長期管理 (成人) 2) 喘息の急性増悪 (発作) への対応 (成人)		
3) 慢性閉塞性肺疾患 (COPD : Chronic Obstructive Pulmonary Disease)		
2 ● 去痰薬	森島祐子, 檜澤伸之	151
1) 急性上気道炎, 気管支炎, 肺炎		
2) 喘息, 慢性閉塞性肺疾患 (COPD : Chronic Obstructive Pulmonary Disease)		
3) びまん性汎細気管支炎 (DPB : Diffuse Panbronchiolitis), 副鼻腔気管支症候群		
3 ● 鎮咳薬	森島祐子, 檜澤伸之	155
1) かぜ症候群後遷延性咳嗽, アトピー咳嗽, 咳喘息, 副鼻腔気管支症候群 2) 特異的治療法のない咳		

4. 血液系・悪性腫瘍

編集：元吉和夫

1 ● 造血薬

1) 赤血球系の造血薬（EPO，鉄剤，ビタミンB₁₂と葉酸）

元吉和夫 158

1) 腎性貧血 2) 鉄欠乏性貧血 3) 悪性貧血 4) 葉酸欠乏症

2) 白血球系の造血薬（G-CSF，M-CSF）

元吉和夫 161

1) 急性白血病の化学療法後の好中球減少症 2) 急性骨髄性白血病の化学療法後の顆粒球減少症

3) 血小板増加薬（ロミプロスチム，エルトロンボパグ）

宮川義隆 164

1) 特発性血小板減少性紫斑病 2) その他

2 ● 止血薬・抗凝固薬

木村文彦 167

1) 出血 2) 血管性紫斑病 3) 血友病A・von Willebrand病（vWD） 4) ビタミンK欠乏症
5) 播種性血管内凝固症候群（DIC）

3 ● 血液製剤

小倉和外 173

1) グロブリン製剤 2) 凝固因子製剤

4 ● 抗悪性腫瘍薬

佐藤 謙 179

1) 急性骨髄性白血病 2) 急性リンパ性白血病 3) 非ホジキンリンパ腫 4) ホジキンリンパ腫
5) 多発性骨髄腫

5 ● 分子標的薬

小林真一 184

1) 慢性骨髄性白血病（CML），フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病（Ph陽性ALL）
2) B細胞性リンパ腫 3) 再発・治療抵抗性急性骨髄性白血病（AML） 4) 急性前骨髄球性白血病（APL）
5) 多発性骨髄腫（MM）

6 ● 経口鉄キレート薬

小澤敬也 193

1) 対象疾患 2) 鉄キレート療法の開始基準

5. 神経科系

編集：西澤正豊

1 ● 頭痛薬

横関明子，下畑享良 198

1) 片頭痛 2) 群発頭痛 3) 緊張型頭痛

2 ● 抗てんかん薬

高堂裕平，下畑享良 203

1) 特発性局在関連てんかん 2) 特発性全般てんかん 3) 症候性局在関連てんかん 4) 症候性全般てんかん

3 ● 抗脳循環障害薬，脳保護薬，抗アルツハイマー型認知症薬

梅田 麻衣子，下畑享良 207

1) 脳梗塞後遺症 2) 頭部外傷後遺症 3) 脳梗塞急性期の神経症候，機能障害 4) アルツハイマー型認知症

4 ● パーキンソン病治療薬

北原 真紀子，下畑享良 211

パーキンソン病，パーキンソン症候群

5 ● 筋弛緩薬

梅田能生，下畑享良 217

1) 痙性麻痺 2) 筋クランプ（こむら返り） 3) 有痛性痙縮

6 ● 制吐薬

柳川香織，下畑享良 221

1) 消化器疾患に伴う嘔気・嘔吐 2) 抗悪性腫瘍薬に伴う嘔気・嘔吐 3) 急性めまい発作時（点滴治療薬）
4) その他のめまい治療薬

7 ● 麻酔薬

佐藤達哉，下畑敬子 225

1) 高血圧・虚血性心疾患患者の麻酔 2) 慢性閉塞性肺疾患（COPD），喘息患者の麻酔 3) 糖尿病患者の麻酔

6. 精神科系

編集：渡辺義文

1 ● 抗精神病薬

田島 治 229

1) 統合失調症 2) 急性躁病 3) せん妄，高齢者（認知症含む）の幻覚妄想状態（保険適応外）
4) その他の症候性の幻覚妄想状態（保険適応外）

2 ● 抗不安薬

平田卓志，山田和男，神庭重信 236

1) ベンゾジアゼピン系抗不安薬 2) セロトニン部分作動性抗不安薬 3) 抗ヒスタミン系抗不安薬

3 ● 抗うつ薬

渡辺義文 240

1) 内因性うつ病 2) 神経症性うつ病（気分変調症，適応障害） 3) パニック障害 4) 強迫性障害
5) 身体表現性障害（心因性疼痛）

4 ● 睡眠薬

内山 真 245

1) 入眠障害 2) 中途覚醒 3) 早朝覚醒 4) 熟眠感欠如

7. 代謝系（糖尿病・脂質異常症（高脂血症）・痛風）

編集：島野 仁

1 ● 糖尿病薬

1) インスリン製剤

鈴木浩明 250

1) 強化インスリン療法（basal-bolus療法）
2) 強化インスリン療法（超速効型もしくは速効型インスリンの毎食前注射）
3) 混合型製剤の1日2回注射 4) スルフォニル尿素薬からインスリンへの切り替え
5) 経口血糖降下薬に持効型インスリンを併用（BOT：basal supported oral treatment）

2) 経口血糖降下薬

豊島秀男 257

2型糖尿病

3) インスリン抵抗性改善薬

島野 仁 261

インスリン抵抗性

4) 速効性インスリン分泌促進薬	曾根博仁	265
食後高血糖を伴う2型糖尿病		
5) 食後過血糖改善薬：α-グルコシダーゼ阻害薬	山田信博	268
1) 2型糖尿病での単独使用 2) 体重減少を考慮したい患者 3) 2型糖尿病における併用療法		
6) DPPⅣ阻害薬	矢藤 繁	272
2●脂質異常症（高脂血症）治療薬	松島照彦	274
1) LDL受容体異常症・欠損症（ⅡaまたはⅡb型高脂血症） 2) 高トリグリセライド血症を中心とした脂質異常症 3) 家族性Ⅲ型高脂血症		
3●尿酸降下薬	細谷龍男	279

8. 内分泌系（骨・Ca，ホルモン製剤）編集：中尾一和

1●骨，カルシウム代謝薬	小松弥郷，中尾一和	283
1) 骨粗鬆症 2) 慢性腎不全 3) 悪性腫瘍に伴う高カルシウム血症		
2●甲状腺機能異常症治療薬	小松弥郷，中尾一和	288
1) 橋本病（慢性甲状腺炎），その他の甲状腺機能低下症 2) バセドウ病 3) 亜急性甲状腺炎 4) 無痛性甲状腺炎		
3●女性ホルモン剤	小松弥郷，中尾一和	293
1) 更年期障害 2) 閉経後骨粗鬆症		
4●男性ホルモン剤	小松弥郷，中尾一和	297
1) アンドロゲン欠乏症 2) 婦人科領域 3) その他		
5●その他のホルモン剤		
1) 成長ホルモン	小松弥郷，中尾一和	301
1) 低身長をきたす以下の疾患：GH分泌不全症，ターナー症候群，軟骨異常栄養症，小児慢性腎不全 2) 成人成長ホルモン分泌不全症		
2) 下垂体後葉ホルモン	小松弥郷，中尾一和	304
1) 中枢性尿崩症（尿崩症） 2) ADH不適合分泌症候群（SIADH）		

9. 炎症・アレルギー・免疫系編集：小池隆夫

1●副腎皮質ステロイド	向井正也	307
1) 自己免疫疾患 2) 自己免疫疾患以外の疾患		

2●非ステロイド性抗炎症薬	深江 淳，小池隆夫	312
1) 急性上気道炎 2) 関節，筋肉をはじめとした骨格筋系炎症 3) その他の疾患による疼痛・発熱 4) 血栓症（心筋梗塞，脳梗塞などをはじめとした動脈血栓症） 5) 特殊な疾患 6) 癌予防（わが国では保険適応なし）		
3●生物製剤	大友 耕太郎	318
1) 関節リウマチ 2) Behçet病の難治性網膜ぶどう膜炎およびCrohn病 3) Castleman病		
4●抗リウマチ薬	竹田 剛	323
1) 抗リウマチ薬未使用例 2) 第一選択薬無効または効果不十分のRA 3) MTX不応例・副作用で使用困難例 4) 高齢者		
5●抗ヒスタミン薬	中丸裕爾	329
1) アレルギー性鼻炎 2) 蕁麻疹，血管性浮腫 3) アトピー性皮膚炎		
6●抗アレルギー薬	清水健一，今野 哲	334
1) 気管支喘息 2) アレルギー性鼻炎 3) アトピー性皮膚炎		
7●免疫抑制薬	片岡 浩	338
1) 全身性エリテマトーデス 2) ANCA（antineutrophil cytoplasmic antibodies：抗好中球細胞質抗体） 関連血管炎 3) 皮膚筋炎・多発性筋炎 4) 関節リウマチ 5) Behçet病 6) 乾癬		

10. 感染症編集：人見重美

1●抗菌薬	人見重美	344
1) 急性咽頭・扁桃炎 2) 急性中耳炎 3) 急性気管支炎 4) 急性副鼻腔炎 5) 急性喉頭蓋炎 6) 肺炎 7) 皮膚感染症 8) 尿路感染症 9) 急性下痢症 10) 腹腔内感染症 11) 感染性心内膜炎 12) 急性骨髄・関節炎 13) 性行為感染症 14) 髄膜炎		
2●抗真菌薬	人見重美	351
1) アスペルギルス感染症 2) カンジダ症 3) クリプトコッカス髄膜炎 4) 輸入真菌症（コクシジオイデス・パラコクシジオイデス・ヒストプラズマ・プラストミセス・ペニシリウム- マルネッフィなど） 5) ムコール症 6) ニューモシスチス肺炎 7) 皮膚真菌症		
3●抗ウイルス薬	人見重美	354
1) HSV感染症 2) 水痘 3) 带状疱疹 4) CMV感染症 5) インフルエンザ 6) HIV感染症 7) B型肝炎 8) C型肝炎		

索引	
薬品名	357
症状・疾患	370
事項	380